

高知県商工団体連合会 NO.970(52-47)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kousyouren.jp/

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

広田一議員に業者の声を届ける懇談会



中小業者の実態を聞く(正面奥の机の中央から右へ) 広田、中根の両氏=4日、高知市

中小業者の実態訴え

高商連が立憲の広田議員と懇談

高知県商工団体連合会(東谷勝喜会長)は4日、立憲民主党の広田一衆院議員(高知2区)との懇談会を開き、コロナ禍や消費税に苦しむ中小業者の実態などを訴え、総選挙で野党共闘による政権交代を求めました。日本共産党の中根こうさく衆院四国ブロック比叻候補、春名直章県委員長が同席しました。

県内の各民商はオンラインで懇談。19日には高知1区に挑む立憲の武内則男衆院議員とも懇談する予定です。

居酒屋を営む女性は「コロナの一時支援金の審査事務局から申請不備の解消などを求める長文でわかりにくいメールが送られてきた」と訴えました。広田氏は「胸がつまる思いだ。商売ができる状況を一つ一つつくりだしていくのが政治の責任だ」と指摘。消費税減税について「野党の共通政策として提案できるようにしたい」と語りました。

高商連(県連)&県共済会総会

9月12日(日)に開催します

総会は、6月開催予定でしたが、コロナ感染拡大への対応で延期していました。

感染予防のため、代議員定数も少なくし、オンライン(Zoom)で7民商をつないでの開催とします。



中根候補ら同席

一時支援金の「不備メール」について(抜粋) 私は、高知駅の近くで小さな居酒屋をしている中島と申します。

お手元の、高知民商ニュースに掲載されているのが、デロイトトーマツという「一時支援金」の審査をしている事務局から、私に届いた「不備の解消」や「事業をおこなっている証明をせよ」というメールです。

ご覧になってお分かりになるように、あまりに長く、内容の分かりにくい文章です。その内容は、「2019年1月以降の24ヵ月分の帳簿を添付せよ」とか、「過去2年分の1月から3月までの請求書、領収書、通帳を添付せよ」といったことが書かれています。

テレビでも報道され、ネットでは「#不備ループ」と話題になっています。私と同じように、「何度修正メールをしても、すぐに不備メールが返って来て、一向に給付にならない」と切実な声が出されていました。

「コロナの影響」により、私たち中小業者は大きな打撃を受けています。生活をするお金すら手元に残っていないような状況です。それを少しでも補いたいと思い、今回の「一時支援金」を申請したのです。なのに、「不正受給を生みたくない」のか、「給付を出したくない」のか、本当に生活することにも困っている、私たちのような弱者に、給付金は届いていないのです。いま高知民商さんと一緒に頑張っていますが、本当に心が折れそうな毎日です。私たちのような弱者が存在していることを知っていただき、国の姿勢を変えてもらいたいと思い、発言をさせていただきました。

高知民商さんと一緒に頑張っていますが、本当に心が折れそうな毎日です。私たちのような弱者が存在していることを知っていただき、国の姿勢を変えてもらいたいと思い、発言をさせていただきました。



武内氏は「コロナの緊急事態にちゃんと機能する政権をつくり、安心して暮らせる国を子や孫に引き継ぐ責任がある」と訴え。白川氏は「一共同で力を合わせ、必ず次の総選挙で新しい政権をつくり、命を守る政治をつくりたい」と呼びかけました。四国に女性の衆院議員がいけない問題に対し、広田氏は「白川さんの当選によって野党共闘の成果を出していきたい」と述べました。

革新懇の益善一事務局長はあいさつで、「3

「国会議員に業者の生の声を届けよう」と、広田一、武内則男両衆院議員との懇談会を企画(武内議員との懇談は8月19日に行います)。

8月4日に行った広田議員との懇談には、7民商から33人の会員、事務局員が参加。高知民商会館をメイン会場に、各民商をオンラインでつないで開催。

参加者から、コロナの下での経営の実情、消費税減税、インボイス制度の中止・延期を求める声などを届けました。

居酒屋を営む中島さん(高知民商)は、「不備ループ」解消を求めました(左記囲みを参照ください)。

東谷会長は閉会の挨拶で、「本日は短い時間でしたが、実情、思いを届けることができました。泥臭く声をかけ切ったほうが勝利する。民商としても、声をかけ切りましょう」と呼びかけました。

白川・武内・広田氏が懇談

@高知

高知県革新懇は10日、総選挙での政権交代をめざし、日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補と

県内二つの選挙区に挑む立憲民主党の武内則男、広田一の両衆院議員を招いた懇談会を高知市で開きました。約90人が参加し、大学生など十数人が要望を出す中、「早く実現させる道は政権交代。3人そろって当選を」と語りかけました。

広田氏は「市民と野党の共闘は確実に進化している」と強調。その上で「一共同して政権を取ったら、一丁目一戸もつぶさない」と述べました。

武内氏は「コロナの緊急事態にちゃんと機能する政権をつくり、安心して暮らせる国を子や孫に引き継ぐ責任がある」と訴え。白川氏は「一共同で力を合わせ、必ず次の総選挙で新しい政権をつくり、命を守る政治をつくりたい」と呼びかけました。四国に女性の衆院議員がいけない問題に対し、広田氏は「白川さんの当選によって野党共闘の成果を出していきたい」と述べました。

市民と野党の共同で 政権交代

人の勝利のため、思想・信条、政治的立場の違いを乗り越えて対話し、共同の輪を広げよう」と訴えました。(8/11しんぶん赤旗より転載) *写真は高商連事務局が撮影したものに差し替えています